

シンポジウム

歴史的まちなか再生の仕組みと仕掛け

歴史的なまちなか再生のあり方については、伝統的な景観の保存修景や観光振興、居住スタイルの模索などいろいろな視点での検討が求められています。

ならまちにおけるまちづくり活動の中核的存在である元興寺住職の辻村泰善氏の基調講演をふまえ、関西各地の先進事例をもとに歴史的まちなか再生の戦略について、「歴史的なまちなかに住まう」ことの魅力をふまえたパネルディスカッションを行います。



日時：11月29日(土) 14:30～17:30(受付開始 14:00)

場所：奈良女子大学 講堂

参加費：無料

基調講演

「世界文化遺産元興寺・ならまち登録の意味」
～文化財保護と寺院復興～

講師：辻村 泰善氏(元興寺住職)

パネルディスカッション

上田琢也氏 (今井まちなみ再生ネットワーク理事長)：今井町の取り組み

阪本光枝氏 (陶工房飛鳥)：富田林の取り組み

中野聖子氏 (ホテルサンルート奈良代表取締役)：ならまちの取り組み

西本千尋氏 ((株)ジャパンエリアマネジメント代表)：エリアマネジメントの仕掛け

【進行】角野幸博 (関西学院大学総合政策学部教授)

[主催] (公社)都市住宅学会、旧鍋屋交番と奈良きたまちの会(愛称：なべかつ)

[後援] 奈良県、奈良市、奈良女子大学

※このシンポジウムは都市住宅学会大会のプログラムとして開催されるものです。どなたでも参加できます。

[問い合わせ先] (公社)都市住宅学会関西支部事務局 06-6208-4488